		観点			
学年	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
1年	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもつようにするために、児童にとって魅力のある教材、季節や行事にあった教材を選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現の楽しさに気付くようにするために、友達と一緒に歌ったり、演奏したりしながら表現する活動を取り入れる。 どのように表現していたか紹介することで、表現の工夫の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 拍感やリズムを感じ取るために、リズムあそびや身体表現を取り入れ、楽しみながら音楽と関われるようにする。 鍵盤ハーモニカの正しい演奏の仕方を知り、グループで聞き合ったり見合ったりして楽しんで演奏できるようにする。 鍵盤ハーモニカの指使いなどは繰り返し練習をし、指の動きになれさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な種類の音楽を味わって聴くようにするために、感じたことを動作や言葉で表していく活動を設定する。 聴いた音楽を口ずさむ活動を取り入れて、自分がどのように感じ取っているかを意識させるようにする。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな曲を歌ったり演奏したりすることの楽しさを感じ取れている児童が多い。さらに、よりよく音楽に関わることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫について声の大きさを(大中小)や声の出し方について曲の気分や気持ちから考え、表現の工夫ができる児童が多い。工夫ができる児童のよさを紹介し、そのよさに気付かせたり真似をさせたりすることから学べるようにする。 音楽に合わせた体の動きだったり、手遊びの工夫を考え、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の声を聴きながら正しい音程やリズムで合わせて歌うことができるようにする。 器楽では、互いに聴き合う活動を通して、音色に気を付けて演奏することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の気分を感じ取るために、どんな気分だったか、どんな感じだったかを言葉で表させる。 体を動かす活動を通して体全体で、音楽の要素を感じたり、そのよさを味わうことができるようにする。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱の学習では曲の雰囲気をつまみ、意欲的に取り組んでいる。さらに、児童の意欲を高められるよう、教材の選択を工夫しながら児童が楽しく学ぶことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲から感じ取ったことを語群の中から選んだり、短い言葉で伝えたりすることができる。自分の思いや考えを発表する場を設け、表現を工夫する楽しさを感じることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌うことに対して前向きで、頭声的な発声ができている児童をお手本に、地声にならないように指導していく。 器楽ではリコーダーの学習に力を入れ、基本を毎回確認し、まっすぐきれいな音を吹くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲に合わせて体を動かす活動や旋律を口ずさんだり楽器で演奏したりして、様々な音楽に親しんで聴くことができるようにする。また、楽曲の構造に気を付け、曲想とその変化を感じ取ることができるようにする。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の学習に対する興味、関心が高くなってきている。 進んで練習に取り組んだり、友達と音を合わせる楽しさを実感できるようになってきているため、さらに、様々な音楽に親しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の旋律の特徴を理解し、生かして歌おうとしている。聴いて感じたことからどうしてそう思ったのか、どのように表現したいのか、自分の思いや意図をもち表現に生かせるようにする。 様々な学習形態を通して、友達の考えからも発想を広げて自分の表現に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 二部合唱では、音が重なり合う面白さを感じ取っている。音程が不安定な部分もあり、聴いて合わせて歌う技能を身に付けることができるようにする。 楽器の基本的な奏法や扱いを身に付け、楽器の音色の特徴を生かして演奏することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の感じから音楽のどんな特徴が関わっているのか考えながら聴いている。聴く視点を絞って鑑賞に取り組ませる。また、曲想とその変化を感じ取り、言葉だけでなく絵や図にして多くの児童が表すことができるようにする。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> どの分野でも主体的に関われる児童とそうでない児童の差が大きい。器楽(合奏)に対する関心が高い児童が多い。友達と合わせる楽しさを味わいさらに意欲的に取り組めるようにする。 身に付けてきた知識や技能を活用できるような授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を生かして歌い方を工夫することができるようになりつつある。楽曲の特徴に気付いてどのように表現したらよいか考え、思いをもって歌ったり演奏したりすることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基本的な奏法や扱い方を身に付け、楽器の特徴を生かしたり、演奏の仕方を工夫したりしながら旋律楽器及び打楽器を演奏することができるようにする。 合奏では、自分が担当している楽器の役割を意識し、各声部の楽器の音や全体の音の響きを理解しながら演奏することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想が異なる楽曲、楽曲の中の対照的な部分を聴き比べたりして、曲想とその変化などの特徴を感じ取ることができるようにする。 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを曲想から捉え、自分の意見や感想をもてるようにする。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に音楽に関われる児童と音楽に対する関心が低い児童の差がある。全員で音楽をつくりあげていく喜びを感じることができるよう指導していく。 身に付けてきた知識や技能を活用できるように、音楽的に魅力のある教材を選択し、創造的に音楽にかかわれるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の特徴を生かして楽器の組み合わせを工夫するなど、曲想を生かした表現を工夫し、自分たちなりの思いや意図をもって演奏することができるようにする。 個々の表現のよさを実感できるように、互いの演奏をじっくり聴いたりしながら表現効果を高めるため工夫をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人の声のよさを生かしつつも、曲想にふさわしい自然な声になるように楽曲に合った表現方法を身に付けさせる。 楽器の音色や音域、演奏の仕方による音色の変化など生かした表現方法を身に付けるようにし、旋律楽器や打楽器を演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽に合わせて体を動かす活動、ワークシート、板書などを工夫して、楽曲の構造を理解しながら鑑賞することができるようにする。 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことから自分の意見や感想をもち、友達と伝え合いながら、楽曲の特徴やそのよさに気付くことができるようにする。 	